



“そのままに” 川柳

今月のお題

五月病

五月病 かからぬ様にと 神だのみ ラン	環境の 変化戸惑い 五月やむ 森本千代美	五月病 心ゆらぐか 風に乗る チロ	五月病 雨か晴れかは 君しだい 月丘夢子	ハワイから 嫁が戻らず 5月末 早乙女勇樹	五月病 悩んだ頃が なつかしい ぼこべん	五月晴れ 心は闇よ 上司様 浮草	さつき賞 当てて病も 治りけり 真琴
------------------------------	-------------------------------	----------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-------------------------------	---------------------------	-----------------------------

6月1日号の投稿募集

お題は「半分」です（1人1句）。
締め切りは5月18日（金）です。

応募方法

住所・氏名またはペンネームを明記し、直接または郵送、Eメールで広報広聴係へ。

〒509-5192（住所不要） ☒ koho@city.toki.lg.jp

☎ 1111（内線185）/ ☎ 7763

※応募多数の場合は採用されないことがあります。

わたしの ほやねさん



ほやねさんプロジェクトが始まります

土岐市での暮らしを豊かにするため、市民、団体や企業、行政が協働して、平成29年3月から「土岐くらしのラボ」の取り組みが始まりました。「ママがやさしい気持ちで毎日を過ごせるようになるには!？」のテーマから、この「ほやねさんプロジェクト」が誕生しました。

ほやねさんって？

解決できなくても、悩みを聞いてもらうだけで心が軽くなることって、きっとあるはず。つらい時や悩んだ時、心がつぶれそうになった時に、そっと寄り添って「ほやね、ほやね」と話を聞いてくれたり、困った時にそっと手を差し伸べて支えてくれる人が、まちのあちらこちらにきつといます。このプロジェクトでは、そういう人を「ほやねさん」と呼んで、皆さんに紹介したり、養成講座などを開催して増やしていきたいと考えています。

土岐市をそんな心温かな人でいっぱいになりたい。そういうまちで子どもを育てたい。それはどんなに素敵なことでしょう。

募集



「わたしのほやねさん」のストーリーを募集します。これまでに出会ったほやねさんの心温まるストーリーを400字程度で教えてください。



応募方法

住所・氏名またはペンネームを明記し、直接または郵送、Eメールでまちづくり推進課へ。

〒509-5192（住所不要） ☒ machisui@city.toki.lg.jp

☎ 1111（内線186）/ ☎ 7763

※応募多数の場合は採用されないことがあります。